

Daily Report (号外)

～2月の米雇用統計について～

結果概要

米国労働省が3月10日に発表した2月の雇用統計は、非農業部門雇用者数が前月比+31.1万人と市場予想(+22.5万人)を上回る結果となりました。前月分は+50.4万人(速報値+51.7万人)に下方修正されました。業種別では、小売業が前月比+5.0万人(前月+3.4万人)、娯楽・接客業が同+10.5万人(同+11.4万人)と増加するも、輸送・倉庫業では同▲2.2万人(同+1.6万人)と減少し、業種ごとで強弱の分かれる結果となりました。

失業率は3.6%と市場予想(3.4%)を上回り上昇、また平均時給は前月比では+0.2%と市場予想(+0.3%)を下回りました。前年同月比では+4.6%と前月(+4.4%)から伸びが加速しました。労働参加率は市場予想(62.4%)を上回る62.5%となり、前月(62.4%)から上昇しました。

市場反応(米国市場)

10日の米国株式市場の米国主要3指数は下落しました。

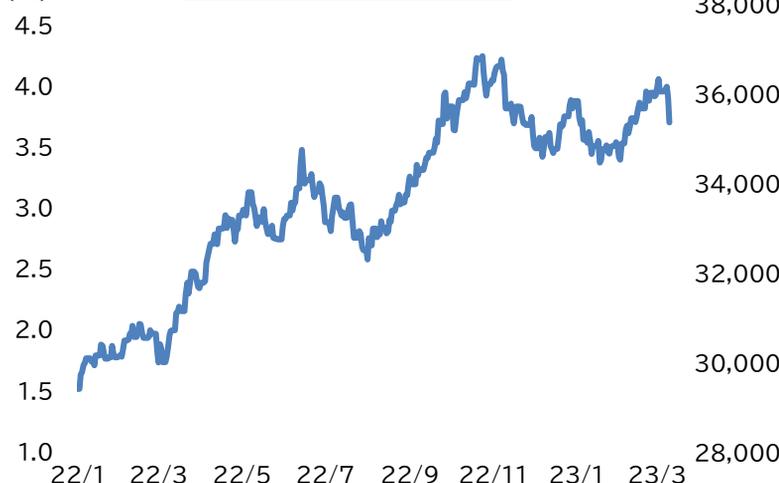
米雇用統計が強弱の入り混じる結果となり、FRBによる利上げペース加速への思惑が後退したことで、株式市場は一時上昇したものの、シリコンバレー銀行(以下、SVB)の破綻を受けて、NYダウ平均株価は前日比▲1.07%、S&P500指数は同▲1.45%、ナスダック総合指数は同▲1.76%となりました。

米国債券市場は、米雇用統計の結果を受け利上げペース再加速への思惑が後退したことやSVB破綻によるリスク回避から買いが強まり、10年国債利回りは前日比▲0.20%の3.70%程度と低下しました。

米ドル/円はSVB破綻を背景とした安全な逃避先としての需要増加や米国債利回りの低下からドル売り円買いが進行し、市場では前日比1円12銭程度円高ドル安の135.03円/ドル程度と下落して取引を終えました。

原油先物市場は、米雇用統計の結果を受け、利上げ幅拡大に伴うリセッションへの警戒が後退し、原油需要伸び悩みの緩和が期待されたことで、WTI原油先物4月限は前日比+1.27%の1バレル=76.68ドルとなりました。

(%) 米10年国債利回りの推移



(ドル)

38,000

NYダウの推移

36,000

34,000

32,000

30,000

28,000

22/1 22/3 22/5 22/7 22/9 22/11 23/1 23/3

(期間)2022/1/1～2023/3/10 (出所)Bloomberg



運用実績等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

また、シミュレーション等(前提は資料参照)については結果を確約するものではありません。

評価・今後の見通し

今月の雇用統計は非農業部門雇用者数が市場予想を上回った他、失業率は依然として低水準が続くものの市場予想に反して上昇する等、方向感の見定めにくい内容でした。

また、非農業部門雇用者数の結果についても事前予想を大幅に上回った1月ほどのインパクトは無く、3月FOMCでの利上げ幅と、利上げの最終到達点について、注目される環境が続く結果となりました。

パウエル議長は3月7日の米議会上院の公聴会で「インフレの抑制に向け、利上げを加速する用意がある」との考えを示していることから、今後も経済指標に一喜一憂する展開が継続し、3月14日に発表が予定されている2月米消費者物価指数(CPI)については普段以上に注目が集まると予想します。

また、3月10日にはSVBの破綻が発表されました。3月12日、米国財務省、FRB、米連邦預金保険公社(FDIC)は共同声明で、預金者を完全に保護する方法で破綻処理を行う方針を公表しており、混乱の収束に向けた動きを見せていますが、利上げが金融システムに与える影響についても配慮が必要な環境となるなど、FRBは難しい舵取りを迫られています。

なお、市場の予想する3月FOMCでの利上げ確率は2月FOMC以降、堅調な経済指標などを背景に一時は+50bp予想が優勢になる時期もあったものの、2月の雇用統計の結果とSVBの破綻を受け、3月13日(日本時間)時点では+25bp予想が80%前後と25bpの利上げが優勢とみられています。

今後の株式市場の見通しとしては、短期的にはSVBの破綻の影響が他金融機関へ波及するリスクの見定めが重要と考えます。前述の通り、預金者保護の方針が米財務省等から表明されたことで、混乱の収束に向けた動きが進んでいますが、3月12日にはSVB破綻の影響を受けた、シグネチャー銀行の破綻も発表されており、警戒が必要な状況が継続しています。また、長期的にはインフレ低下が思うように進まず、FRBの利上げ最終到達点が上昇する場合や利上げ期間が想定よりも長引いた場合、株式市場が下落するリスクには注意が必要です。その為、当面はSVB関連のニュースフローや今週発表予定の米CPIなど各種経済指標に注目が集まると考えておりますが、全体として上値の重い展開を想定しています。

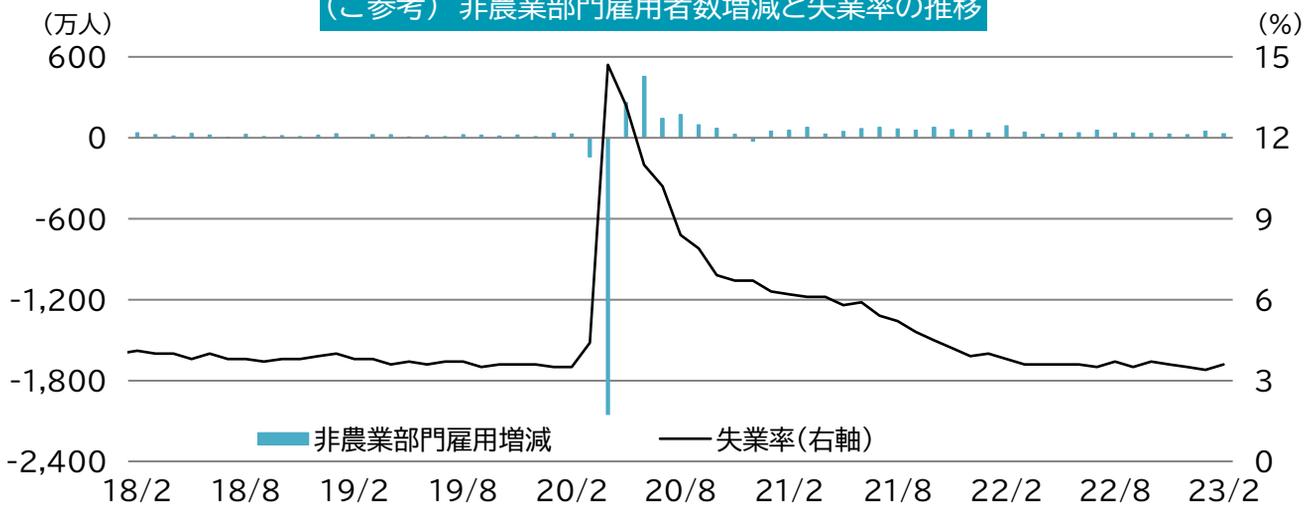
Daily Report(号外)

(ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

	22/9	22/10	22/11	22/12	23/1	23/2
非農業部門	+35.0	+32.4	+29.0	+23.9	+50.4	+31.1
鉱工業部門	+4.4	+5.7	+4.1	+3.6	+5.1	+2.0
建設業	+1.6	+1.7	+1.9	+2.6	+3.5	+2.4
製造業	+2.6	+3.7	+1.4	+0.6	+1.3	-0.4
資源・鉱業	+0.2	+0.3	+0.8	+0.4	+0.3	+0.0
サービス部門	+30.0	+24.2	+18.7	+19.6	+33.5	+24.5
卸売業	+0.8	+1.6	-0.0	+1.0	+0.9	+1.1
小売業	-1.1	-0.6	-4.6	+2.7	+3.4	+5.0
輸送・倉庫業	+1.0	+2.0	-3.7	+0.0	+1.6	-2.2
情報	+0.3	+0.3	+1.3	-0.9	-2.0	-2.5
金融	+0.2	+1.8	+1.1	+0.4	+0.5	-0.1
専門・ビジネスサービス業	+4.8	+3.6	+0.0	+2.3	+5.3	+4.5
人材派遣業	+1.1	+1.0	-4.9	-5.5	+1.5	+0.7
教育・ヘルスケア業	+8.0	+8.5	+9.5	+7.1	+10.7	+7.4
娯楽・接客業	+13.9	+6.1	+12.3	+5.8	+11.4	+10.5
その他	1.0	-0.1	7.7	6.7	0.2	0.1
政府部門	+0.6	+2.5	+6.2	+0.7	+11.8	+4.6
失業率(%)	3.5	3.7	3.6	3.5	3.4	3.6
平均時給(前年同月比、%)	5.1	4.9	5	4.8	4.4	4.6

(ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2018年2月~2023年2月 (出所)Bloomberg